

授業科目	地域栄養活動論					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	坂田 郁子、永原 真奈見						
授業概要	<p>地域栄養活動の基本は、地域に住む全ての人々の健康・生活の質の向上という共通の目的をもつて、地域の活動体を組織し、健康の保持・増進に取り組むことである。地域のあらゆる場面で活躍する管理栄養士の業務内容について、実際の手法をもとに解説する。</p> <p>本科目は実務家教員が担当し、臨地実習での栄養管理業務の基本を概説する。また実務家教員である外部講師を招聘し、現場の栄養管理の実際にについて解説する。</p>						
授業形態	対面授業		授業方法	アクティブラーニング（グループワーク、プレゼンテーション）			

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 地域栄養活動実践の概要と行政組織、管理栄養士の役割について理解する。（DP4-1）
	2. 地域における公衆栄養活動プログラム立案の手法について理解する。（DP4-1, DP4-2, DP5-1）
	3. 地域栄養活動の様々な場における管理栄養士の専門的な業務や活動の実際を理解する。（DP3-1, DP4-2）
	1) 地域栄養活動実践の概要と行政組織、管理栄養士の役割について説明ができる。
	2) 地域における公衆栄養活動を行うにあたり、多職種との連携について説明ができる。
理想的レベル	1) 地域栄養活動実践の概要と行政組織および行政施策における管理栄養士の役割について理解し、説明ができる。 2) 地域における公衆栄養活動プログラム立案の手法について理解し、職能団体およびボランティア団体との連携による地域栄養活動の具体例について説明ができる。 3) 多職種の役割を理解し、連携の必要性について説明できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	40%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%	
レポート外の提出物	30%	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT21903J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

行政が行う栄養活動について授業外でしらべ、興味や関心、疑問点など具体的にノートにまとめる。

4

授業計画

第1回	テーマ：行政組織と関係法規 (坂田郁子) 県・政令市・市町村行政栄養士の業務の違いについて、関係法規を含め復習する。

第2回	<p>テーマ：福岡県における公衆栄養活動 (坂田郁子・永原真奈見・外部講師) 福岡県・保健所における公衆栄養活動について解説する。</p>
第3回	<p>テーマ：市町村における公衆栄養活動 (坂田郁子・永原真奈見・外部講師) 市町村（市町村保健センター）における公衆栄養活動の実際について解説する。</p>
第4回	<p>テーマ：食育の取組みについて学ぶ (坂田郁子・永原真奈見・外部講師) 地域で行われている食育について事例をとおして解説する。</p>
第5回	<p>テーマ：地域包括ケアシステム (坂田郁子・永原真奈見・外部講師) 地域包括ケアシステムにおける管理栄養士の役割について解説する。</p>
第6回	<p>テーマ：地域保健体制の整備 (坂田郁子) 関係機関及び団体（食生活改善推進会含む）との連携について解説する。</p>
第7回	<p>テーマ：働く世代の健康づくり (坂田郁子) 地域・職域が連携した健康づくりおよび特定健診・保健指導について解説する。</p>
第8回	<p>テーマ：健康危機管理 (坂田郁子) 災害時における栄養支援活動について解説し、災害時の行政栄養士の活動について演習する。</p>
第9回	<p>テーマ：栄養に関する集団指導計画（グループワーク） (永原真奈見) 対象者に応じた指導計画を立案し、媒体を作成する。</p>
第10回	<p>テーマ：特定給食施設指導 (坂田郁子・永原真奈見) 保健所が行う特定給食施設における栄養管理の指導内容について解説する。</p>
第11回	<p>テーマ：食環境整備と食品表示 (坂田郁子・永原真奈見) 食環境整備と併せ、栄養成分表示の活用について解説する。 加工食品の栄養成分表示を調べ、発表する。</p>
第12回	<p>テーマ：地域診断 (坂田郁子・永原真奈見) 各種統計調査の結果から、地域特性の把握の方法について解説する。臨地実習先の地域の特性を調べる。</p>
第13回	<p>テーマ：地域に応じた健康・栄養改善事業 (坂田郁子・永原真奈見) 調べた地域診断を発表し、健康・栄養改善事業について検討する。</p>

第14回	<p>テーマ：栄養改善事業の企画① (坂田郁子・永原真奈見)</p> <p>地域特性に応じた栄養改善事業の企画を作成する。カンファレンスの進め方について解説する。</p>
第15回	<p>テーマ：栄養改善事業の企画② (坂田郁子・永原真奈見)</p> <p>地域特性に応じた栄養改善事業の企画を作成し発表する。</p>
テキスト	テキストは、特に指定するものはない。講義ごとに資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書・教材等は講義で紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	<p>復習および、課題・演習内容は授業中に指示する。</p> <p>個人評価については、個人課題・レポートで評価する。(締切厳守)</p> <p>レポートはまとめて返却する。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>臨地実習Ⅲの事前準備にあたるため、公衆栄養学ⅠおよびⅡで学習した内容の理解が必要である。</p> <p>地域栄養活動論は、これまで学んできた公衆栄養学Ⅰ・Ⅱを基礎として、地域で実践されている公衆栄養活動の実際を理解するための講座です。</p> <p>特に、臨地実習Ⅲで保健所・保健センターの実習を履修する学生は、臨地実習ノートの項目を含んだ事前学習も兼ねているため、必ず受講すること。</p>

